

IT経営サポートセンターのご紹介

2024年4月

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部
地域・連携支援部 地域・連携推進課

はじめに

- 「IT経営サポートセンター」とは、中小企業・小規模事業者のIT利活用や導入について気軽に相談できるオンライン面談サービスです。
- 実務経験豊富なIT経営の専門家が、中小企業・小規模事業者のIT化にまつわるさまざまな悩み・お困りごとの解決に向けてサポートします。
- ご相談は、無料・1回60分・オンライン形式です(事前予約制)
- 「IT化の進め方がわからない」「自社にあったITツールを探したい」「もっと有効活用したい」など、事業者の状況に応じて課題の整理や実践的なアドバイス・情報提供などを行います。

実務経験豊富なITの専門家が
オンライン面談でお悩みを解決します。



無料



オンライン



60分



予約制

「IT経営サポートセンター」は、中小企業・小規模事業者の
経営支援に取り組む支援機関の方もご利用いただけます

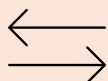
支援機関の方のご利用イメージ

支援機関が単独で相談

- ・ 支援先企業からITについて相談があったが、自分がITに詳しくないので回答に困っている
- ・ システム導入で悩んでいる支援企業がいたので専門家のアドバイスや導入事例を参考にしたい



支援機関の方



IT経営サポートセンター

支援機関の方のお悩み・お困りごとに対して直接サポート

支援機関が支援先企業と同席で相談

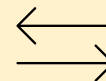
- ・ 支援先企業のお悩みについて、課題整理や方針の策定を一緒に確認したい
- ・ 専門家からの提案を参考に継続的な伴走支援に役立てたい



中小企業・小規模事業者



支援機関の方



IT経営サポートセンター

事業者のお悩み・お困りごとに対して
支援機関の方と一緒にサポート

- ・ 中小企業のIT導入を広めるためには、支援機関の皆様のお力が必要です。
- ・ IT経営サポートセンターをご利用いただいた支援先企業様に効果的なフォローを行っていただくためにも、**相談の場で一緒にお話を聞いていただいて、その後の導入に向けてのサポートを是非お願いしたいと考えております。**
- ・ 「同席相談」の形でIT専門家のアドバイス内容を聞くことや、アドバイスを一緒に行っていただくことにより、支援機関職員のIT化支援力向上にも寄与したいと考えております。

利用申込方法



- ① IT経営サポートセンターのウェブサイトから「相談予約(カレンダーから日時を選ぶ)」をクリックします。予約枠の空き状況が表示されます。希望日時を選択してください。
- ② 予約フォームが開きます。必要情報を入力し、「確認」ボタンをクリックしてください。予約内容をご確認いただき「予約」ボタンをクリックすると「予約受付完了」となります。
- ③ 「予約受付メール」を受信後、予約日時、Zoom URLなどをご確認ください。
- ④ 相談当日、Zoom URLよりご参加ください。

IT経営サポートセンター

検索

<https://it-sodan.smrj.go.jp/>



ご相談の流れ

 IT経営サポートセンター



初回ご利用時の基本パターン（60分）

相談開始

受信した「予約受付メール」に記載されている Zoom URLでオンライン相談を開始

ヒアリング

・現状の課題やお悩み、業務の内容や流れ、IT利用状況などについて確認

30分
程度

問題・課題整理

- ・「IT戦略ナビ」を用いて課題や取り組みたいことなどを整理・見える化（IT戦略マップ・導入プランの作成）
- ・具体的なお困りごとがある場合は、個別アドバイスを中心に実施



IT化方針の検討・解決策の提示

- ・「IT戦略マップ」や「IT導入プラン」をもとに、IT化方針についてディスカッション・検討
- ・「ここからアプリ」等を参考に課題解決に適したITソリューションを提案



相談終了

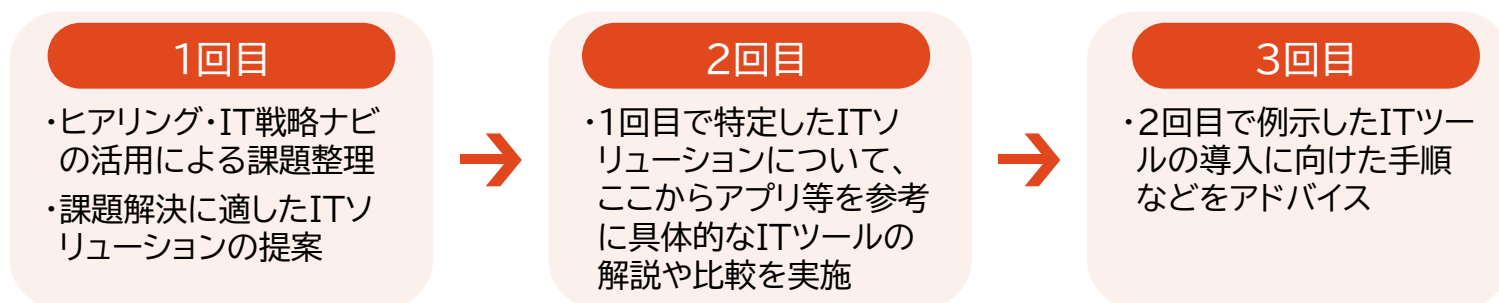
・ご要望に応じて、次回の相談予約受付やほかのIT導入支援メニューなどをご案内

IT経営サポートセンターの複数回利用のイメージ

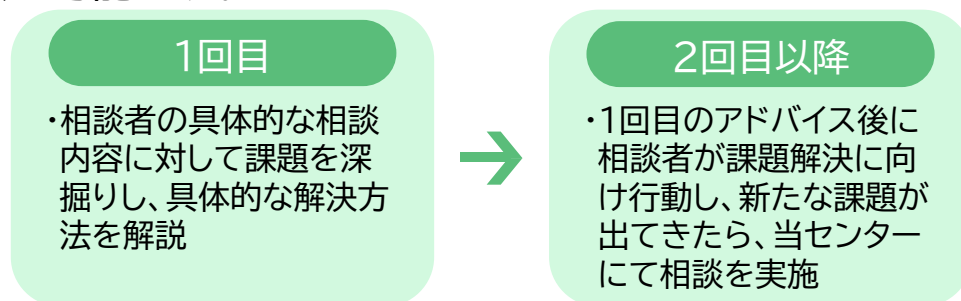
- IT経営サポートセンターは、利用回数の制限はございません。中小企業の相談内容や、問題・課題の整理状況、IT化の検討段階に応じて、**複数回でもご相談に応じます。**
- 例えば、IT活用の必要は感じているものの、**「何をどう取り組んだら良いか分からない」という中小企業でも、複数回の相談を通じて、課題解決に向けた次のステップに進めるような支援をいたします。**

(相談ステップ例)

- ステップ1 : 何をどう取り組んだら良いか分からない
- ステップ2 : 課題解決にITが役立つことは分かったが、ITソリューションが分からない(知らない)
- ステップ3 : ITソリューションがあることは分かったが、どのITツールが良いのか選べない。導入効果が分からない。
- ステップ4 : 導入すべきITツールは絞り込めたが、導入の手順が分からない



- 課題や相談内容が明確なご相談は、必要な時だけ当センターを活用いただくといったご利用方法も可能です。**



支援機関の相談事例

支援機関が単独で相談した事例

支援機関: 商工会議所

相談内容: 支援先企業のIT利活用・導入についてアドバイスが欲しい

<相談者の課題>

- 支援先の事業者がECサイトを展開しており、商品管理や書類作成、発送処理について相談を受けた。
- 現状はExcelで管理しており、作業負担軽減のためにITツールを導入したいとのことだが、支援機関としてどのように相談対応したらよいか悩んでいる。

<支援内容>

- 現状の手順をヒアリングしたところ、請求書等の作成を1件ずつ行っているため時間がかかっていることが判明した。Excelでのデータ整理が不十分である可能性も浮上したため、Excelデータの整理、Excelでの検索やソート機能を使ったオペレーションの改善やクラウドデータベースへの移行の検討を提案した。
- また、販売管理システムやEC向け顧客管理システムもご紹介した。

支援機関が事業者と一緒に相談した事例

支援機関: 商工会

相談内容: 支援先から予約販売管理をIT化したいとの要望を受けたが、最適なツールをアドバイスして欲しい

<相談者の課題>

- 支援先の事業者が最近新規事業として洋菓子の店舗販売を始めたが、売れ残りが発生しているため予約販売を行い、予約をITツールで管理したい。
- ホームページは無く、SNSはInstagramのみ。POSレジも導入していない。
- Instagramを活用して予約販売を行うか、新たに予約管理システムを導入するか悩んでいる。

<支援内容>

- ヒアリングを行ったところ、予約システムの導入の前に、店舗運営や販売方法の戦略を検討する必要があることが判明したため、インターネットを活用したマーケティング戦略の例やツールを説明した。
- Instagramの予約機能や複数の予約システムを紹介し、選定の際に確認すべき機能を説明した。
- Instagramを活用した新規顧客の獲得のコツや、SNSを活用したリピート客の獲得方法について紹介した。
- 事業者は、IT経営サポートセンターの相談後、商工会の支援のもとで販売戦略の検討を進めることになった。

IT経営サポートセンターをご利用いただいた支援機関の感想

直接相談

信用金庫A	融資先のIT化について、 <u>経営改善の幅広い視点からアドバイス</u> が受けられるため、融資先の本業支援の役に立つ事業だと感じる。
信用金庫B	融資先の課題に対して想定される <u>ITツールの情報</u> が得られ、とても参考になった。事業者と面談を進める際のイメージができた。
商工会	<u>支援機関に対しても個別にスポットで専門的な支援</u> を受けられるため心強く、ありがたい。
商工会連合会	会員企業の <u>IT/DX化推進方策の方向性が明確になった</u> 。一次対応としてIT戦略ナビを活用し、具体的な内容については専門家と連携しながら支援に当たっていきたい。

同席相談

政府系金融機関職員 A	同席で <u>IT化支援の方法が分かり参考になった</u> 。事業者からは「何から始めれば良いか分からない」と相談を受けていたが、具体的な取り組み内容と優先順位が分かって良かった。
政府系金融機関職員B	ヒアリングを重視し、 <u>課題整理をすることの大切さが理解できた</u> 。ITの相談がくると、何か提案しなくてはという思考になり、知っているサービスの紹介のみに留まっていた。
政府系金融機関職員C	IT経営サポートセンターを利用後、 <u>社長とIT化について具体的な話ができるようになった</u> 。IT導入に向けフォローしていきたい。
市支援センター職員D	IT化の相談を受けた際にはITベンダーを紹介していたが、ITベンダーは売りたいものを優先的に紹介するため <u>中立的な支援</u> を受けられないという課題があった。今後はIT経営サポートセンターを活用したい。

参考 | 企業支援事例

企業情報

【業種】包装資材販売業 【エリア】東北 【従業員数】14人

課題やお悩み

- ・現状注文は電話、FAX、メールで受けている。受注処理が煩雑であるため、一本化したい。
- ・受注～出荷について、現状事務所で受注内容をノートに記し、それを倉庫に持っていく出荷を手配している。この業務を効率化したい。
- ・上記課題に対し、以前ベンダーにシステム化を相談したが、費用が高く断念した。極力安価に対応策を実現したい。

相談・アドバイス

1回目

- ・相談者の現状や課題感の具体的な点についてヒアリングを実施した。専用端末で伝票発行を行っており、専用端末の拡張により、課題への対応策につながると考えられる。ただ相談者は、対応策として極力安価な仕組みを希望していることもヒアリングを通じて理解できた。

2回目

- ・課題に対する対応策について、短期施策／長期施策にわけてご案内を行った。短期的には、無料のGoogleフォームやスプレッドシートを活用した簡易的な手法をご提示。長期的には既存の専用端末の機能拡張、あるいは新規システムによる販売／在庫管理システムの導入について導入効果を含めてご提示した。ご提示した内容をもとに一旦社内で検討したいとのことで、本相談は完了となった。

相談を終えて(コメント)

- ・課題解決に向けて、必要なシステムをいろいろと知ることができた。またその費用もどれくらいなのか知ることができた。
- ・短期、長期の両方で提案をいただき、また具体的にその作成方法、運用方法まで教えていただき参考になった。
- ・今まで費用がかかり過ぎていたり、なかなか運用の難しい提案が多く実現は不可能と思っていたので、今回ご提案をいただけてよかった。

同席した 支援機関 のコメント

- ・面談をしていただいたことで、私と社長の間でどのようなシステムがよいのか、どこが業務改善のポイントなのか、従来より具体的な話をすることができた。専門家に相談できたことは間違いなくプラスであると感じている。
- ・親身になって相談に応じていただき、かつ大変参考になった。社長も大変満足されており今回のご相談に感謝している。



IT経営サポートセンター

参考 | よくあるご質問

Q1.	どのようなことが相談できますか。	A1.	「もやもや」型の例 ・ IT利活用の必要は感じているが、何をどう取り組んだら良いかわからない。 ・ まずは専門家に相談し、話の中で解決策をみつきたい。特に顧客管理や受発注に不便を感じている。 「ハッキリ」型の例 ・ 自社で販売管理システムと会計システムを利用中だが、連携ができていないので、その点について相談したい。 ・ 受発注システムの導入(あるいは活用)について詳しく聞きたい。 ・ 自分でシステムについていろいろ調べたが、どれが自社に合っているか分からないので専門家のアドバイスがほしい。 なお、下記のようなご相談には対応できません。 ・ 補助金・助成金等の申請支援 ・ PCや通信ネットワークの障害・故障に関するご相談 ・ 特定のソフトウェア製品の操作方法やITサービスの詳細仕様に関する質問 ・ 特定のハードウェア・ソフトウェア製品、インターネットサービスプロバイダやITサービスの評価、推奨 ・ ITベンダーの斡旋
Q2.	オンライン面談はどのように行うのですか。	A2.	オンライン会議システムの「Zoom(ズーム)」を使用します。WiFi環境など高速通信が可能な電波の良い環境でご参加ください。ご利用環境により音声や画像が途切れる場合がございます。オンライン面談時に発生した通信料は相談者負担となります。
Q3.	どのような専門家が対応するのですか。	A3.	ITコーディネータ、IT化支援経験のある方など、IT関連の実務経験を有する専門家が対応します。
Q4.	2回目以降の継続利用を希望した場合、同じ専門家を指名することはできますか。	A4.	申込フォーム上で専門家の指定はできませんが、相談時に次回の予約受付を行うことは可能です。2回目以降の希望する日程を直接専門家へお伝えください。空き状況などと照らして調整をいたします。



ここからアプリ
Coco APP

概要

- 自社の経営課題・業務課題と、課題解決につながるITソリューションを整理したIT戦略マップを作成することができる
- IT導入の理由と期待される効果を可視化でき、社内における意思統一ツールとして課題解決の方針を共有できる

- 中小企業の業務分野に適したビジネス用アプリをご紹介
- 実際にITツールを導入された事業者の方の導入事例や、分野別の特集記事、支援事例やミニ講座動画等、お役立ち情報を配信

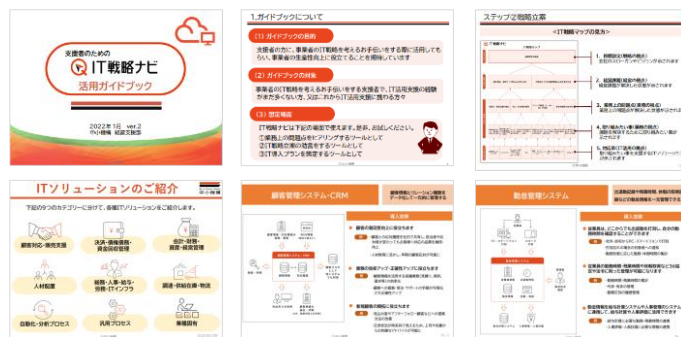
解説動画

支援ロールプレイング編
IT戦略ナビガイドブック解説編

IT導入支援動画【支援機関編】
IT導入支援動画【金融機関編】
IT支援力アップミニ講座【ここからアプリの使い方】

サポートブック *PDFダウンロード可

IT戦略ナビ ガイドブック
ITソリューション解説書



支援者のためのビジネス用アプリ導入支援サポートブック(改訂 第3版)



URL

<https://it-map.smrj.go.jp/>
<https://it-map.smrj.go.jp/supporter/>

<https://ittools.smrj.go.jp/>
<https://ittools.smrj.go.jp/supporter/>

参考 | ITプラットフォーム事業

- ITプラットフォームでは、中小企業の皆様の経営課題をIT導入により解決に導くためのIT化支援策を総合的に発信しています。
- 経営課題や業務課題の整理から課題解決ツールの選定、導入、日常の情報収集まで各段階でご活用いただける7つの支援策をご用意しています。



ITプラットフォーム

検索

<https://www.smrj.go.jp/tool/itpf/>

ご清聴ありがとうございました。
明日からの事業者支援活動に
お役立ていただければ幸いです。

【中小機構の各事業に関するお問い合わせ先】

中小機構 関東本部 地域・連携支援部 地域・連携推進課
電話番号 : 03-6459-0074
メールアドレス : banba-kanto@smrj.go.jp
担当 : 中小企業アドバイザー 馬場 美州 (ばんば よしくに)